2025年9月版

○○○○年○○月○○日

脱炭素化・エネルギー転換に資する我が国技術の国際実証事業にかかる

ご相談フォーマット

※適宜事前に事業紹介ページ等をご確認の上、記載してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 法人名 |  | 所属 |  | |
| 役職 |  | 氏名 |  | |
| 住所  (連絡先) | 〒　　－ | | | |
| 電話番号 | (　　　)　　　　－ | メールアドレス | |  |
|  | | | | |
| 実証テーマ名 | ○○○のための×××実証研究  （例：欧州における水素発電を実現するための水素ガスタービン発電実証研究） | | | |
| 対象地域・国 | 〇〇〇〇〇（例：ドイツ） | | | |
| 対象技術分野  ※各公募で対象とする技術分野は、公募毎に変更となる可能性があります。各公募の公募要領でご確認ください。 | 実証時に想定されている技術課題が当てはまる技術分野を選択してください。ご相談時は複数の技術分野を選定頂くことは可能ですが、**提案書では必ず一つ**を選択して頂く必要がございます。  　各技術分野の内容については、[こちら](https://www.nedo.go.jp/activities/bumonbetsu.html)をご参照ください。   |  |  | | --- | --- | | □①水素・アンモニア技術 | 水素関連技術（水素製造、水素貯蔵・輸送・供給、水素利用）、燃料電池技術、アンモニア技術（製造、利用（「サーキュラーエコノミー分野」に該当するものを除く）） | | □②再生可能エネルギー技術 | 再生可能エネルギー技術（太陽光発電、風力・海洋発電、地熱発電、バイオマス燃料変換・利用、再生可能エネルギー熱）、系統連系技術、 再生可能エネルギーを有効に活用するシステム技術 | | □③サーキュラーエコノミー技術 | 次世代火力関連技術（アンモニア利用を含む）、ＣＣＵ技術、ＣＣＳ技術、ＣＯ２分離/回収技術、３Ｒ技術、水関連技術 | | □④半導体・情報インフラ技術 | 半導体技術、情報インフラ技術 | | □⑤AI・ロボット技術 | 人工知能技術、ロボット技術、量子コンピューティング技術 | | □⑥バイオテクノロジー・材料技術 | バイオベース素材、生物機能活用物質生産、構造材料（自動車・航空機用途を除く）、機能性材料、希少資源削減・代替、金属３Dプリンタ造形 | | □⑦自動車・蓄電池技術 | 自動車関連技術、蓄電池関連技術 | | □⑧航空機・宇宙技術 | 航空機技術、宇宙関連技術 | | □⑨省エネルギー技術 | 省エネルギー技術（上記分野のいずれにもあてはまらないもの。原則、大幅なエネルギー使用量削減が見込まれる技術を指し、非化石エネルギーへの置き換えを含まない。） | | | | |
| 検討している公募 | ２０２○年度第○回公募　（成立性調査・実証設計）  　　※検討している公募を残して、他は削除してください。 | | | |
| 実施期間 | （成立性調査）○○○○年○○月～○○○○年○月（希望しない場合は削除） （実証設計）　○○○○年○○月～○○○○年○月  （実証研究）　○○○○年○○月～○○○○年○月 | | | |
| 実証研究事業費  (内NEDO負担分) | 約○○億円（約○○億円） | | | |
| 実証研究概要  ※別途パワポ資料等あれば併せて送付いただけますと幸いです。 | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。  【記載のポイント】  「対象国・地域におけるエネルギーに関する課題を、どのような技術でどのように解決するか」「実証研究における技術課題は何か」「実証研究の終了後、普及が期待できる技術か」について、簡潔に記載してください。 | | | |
| ご相談事項 |  | | | |
| 政府機関との相談状況 | 国内政府機関（経済産業省等）や相手国政府機関と提案内容について相談した場合は、相談した部局と相談結果を可能な範囲で記載してください。 | | | |
| 本事業を知った経緯 | NEDOHPや経済産業省、NEDO海外事務所からの紹介等、可能な範囲でご記載いただけますと幸いです。 | | | |

次ページに続く

【実証研究の詳細】

実証設計への応募を検討されている場合は全ての項目を、成立性調査へ応募される場合は記載可能な項目を、それぞれ、[国際実証研究費助成金交付規程](https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/kokusai_josei_koufukitei_yoshiki.html)（以下、交付規程）及び[課題設定型産業技術開発費助成事業事務処理マニュアル](https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo_josei_manual_2025.html)（以下、マニュアル）を参考として記載して下さい。行が不足する場合は、適宜追加して記載して下さい。

【実証研究実施体制】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 名称 | 所在地\* | 備　考 | |
| 助成事業者 |  |  | 実証設計時 | □助成先である |
|  |  | □助成先でない |
| 委託事業者 |  |  | 委託内容 |  |
| 相手国企業 |  |  | 実証での役割 |  |
| 相手国政府機関 |  |  | 合意文書の  締結希望 |  |

所在地\*：日本、相手国、その他（国名を記入）

【実証で取得する財産\*1】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 名称 | 取得予定価格 | 耐用　年数\*2 | 処分制限期間\*3 | 実証終了後の予定 | | |
| 所有者 | 使用者 | 使用目的\*4 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

財産\*1 ：交付規程で定める処分制限財産についてのみ記載して下さい。

耐用年数\*2 ：設置国での資産登録台帳等に記載される耐用年数

処分制限期間\*3 ：資産登録内容とマニュアルに基づき設定される年数

利用目的\*4 ：研究開発以外で用いる場合は返納が必要となる場合があります。詳細はマニュアルでご確認下さい。

【事業計画】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 概要 | 見込み金額 |
| 実証期間中の助成金以外の収入  （副生物売却収入・他国補助金・有償サンプル提供等） |  |  |
| 実証終了翌年度から5年間の売り上げ見込み |  |  |

＊ご相談内容につきましては、本事業の目的以外では使用いたしません。ご記入いただきましたお名前、ご住所、メールアドレスなどの個人情報は、お問い合わせ内容を確認し、回答させていただくために利用することを目的としており、ご本人の同意なく目的外利用や第三者に開示することはありません。